

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 2 9 号
件 名	学校を休んで家族の日も必要なことについて
要 旨	<p>家族旅行を理由に学校を欠席、悪ですか。大人は土、日に勤務、平日にしか休日が取れない。子供たちと家族旅行に行くため、学校を欠席させたい。家族との思い出のほうが大切。時代は変化しています。大人は有給休暇を取って休めるのに、子供は平日に簡単には休めない。釈然としない。年間5日程度、休んでもいい日を設けてほしい。校欠にならない扱い。体験、探求等の活動や平日は宿泊費が安い。子供目線の制度をつくってほしい。学校行事を避け、休んでもいい日も必要。子供の時期にしか楽しめない特別な貴重な体験、思い出、親子の蜜月期です。あくまで親の判断でなく、子供の意見を聞いてほしい。また、個人の皆勤賞は見直しも必要。コロナ等が発生しても無理に登校するとか、一般の病気でも無理に登校しなくてもいいような雰囲気づくりが必要だと思います。卒業証書とは別に、子供たちに記念になるような賞をあげてほしい。</p> <p>については、貴議会において措置、要望等を働きかけていただきますよう、下記のとおり陳情いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 個人の皆勤賞は見直しすること。 2 年間5日間は休んでもいい日をつくること。
付 託 年月日 委員会	<p>令和5年9月19日</p> <p>第1項 第2項</p> <p>} 文教経済常任委員会</p>
受 理	令和5年9月8日 第381号